

2018年10月9日

報道関係者 各位

国文学研究資料館
京都大学附属図書館
国立極地研究所

市民参加型ワークショップ「古典オーロラハンターIN 京都」開催のご案内

国文学研究資料館では、11月18日（日）に市民参加型ワークショップ「古典オーロラハンターIN 京都」を開催いたします。

古典オーロラハンターは、過去3回について国文学研究資料館と国立極地研究所がある東京都立川市で地域の市民を主な対象に開催してまいりました。今回は4回目を迎えることから、初めて関西での開催として京都大学附属図書館3階ライブラリホールで行います。平安から江戸時代にいたる古典籍・古文書から天変地異に関する記述を探し出し、参加者の皆様と京都千年の自然災害データ作成にチャレンジします。

当日は司馬江漢の銅版画「太陽真形図」をはじめ、同図書館所蔵の貴重な古典籍も展示されます。また、京都大学大学院理学研究科附属天文台が観測した太陽観測画像や国立極地研究所によるオーロラ研究の成果など、最先端科学が明らかにした天変地異の姿が分かる資料やパネルの展示も行います。

当日の講師には京都大学や東京大学から地震や天文学の専門家も参加し、古典籍・古文書の記録が最先端科学とどのようにつながっているか、分かりやすく解説する予定です。

また本ワークショップのポスターは、国文学研究資料館所蔵資料を活用して、京都市立芸術大学の大学院生・中田恵子さんがデザインしたものです。

貴媒体で、本ワークショップについて、ご掲載いただければ幸いです。何卒よろしく願いいたします。

日時：2018年11月18日（日）13時30分～16時30分

場所：京都大学附属図書館3階ライブラリホール

（京都市左京区吉田本町）

参加人員：約28名

（一般公募・参加費無料 ※応募者多数の場合は抽選）

お申し込み方法：

ハガキ、FAXまたはE-mailに①郵便番号、②住所、③電話番号、④氏名（フリガナ）を明記の上、2018年10月31日（水）迄にお申し込みください。

選考結果は11月上旬に、郵送でお知らせします。

次のURLからチラシがダウンロードできます。

http://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/20181118_workshop.html





主 催：国文学研究資料館

共 催：国立極地研究所、京都大学附属図書館

事業主体：

- ・歴史的典籍NW事業 異分野融合研究（典籍防災学）「典籍等の天文・気候情報に基づく減災研究の基盤整備」研究代表者：国立極地研究所・准教授・片岡龍峰
- ・科学研究費助成事業 基盤研究（B）「歴史文献を用いた過去の太陽活動の研究」（18H01254）研究代表者：京都市立芸術大学・准教授・磯部洋明
- ・京都大学 SPIRITS2017 「京都の社寺記録から描く天変地異と人々の対応」研究代表者：京都大学防災研究所・教授・橋本学
- ・科学研究費助成事業 挑戦的研究（開拓）「天変地異のオープンサイエンス」（18H05319）研究代表者：京都大学防災研究所・教授・矢守克也

<本件担当>

- ・事業全体に対するお問い合わせ

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター事務室
古典籍共同研究係

E-mail : center_cr@nijl.ac.jp

TEL : 050-5533-2988

FAX : 042-526-8883

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3

- ・京都開催に関するお問い合わせ

京都大学宇宙総合学研究ユニット

特任准教授 磯部洋明

E-Mail : isobe@kwasan.kyoto-u.ac.jp

携帯 090-6181-7253